

## ■著者紹介

### 志賀 信夫（しが・のぶお）

1982年生。一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程修了。博士（社会学）  
現在、大谷大学文学部助教

〔主要業績〕

「日本の地方中小都市における貧困と排除から考える社会政策的課題」全弘奎編

『包摂都市を構想する』（法律文化社、2016年）

「『参加所得』構想の検討」『社会政策』6巻3号（2015年）

「ベーシック・インカムの理念と実現プロセス」『季刊経済理論』50巻3号（2013年）